

令和5年度

新型コロナウイルス感染症

学校給食対応マニュアル

(令和5年度5月8日改訂版)



牛 島 小 学 校



学校給食は、健やかな育ちを支える重要な機能であるが、感染のリスクが高い活動であるため十分な配慮を要す。

準備

① 担任は、給食当番の健康チェックを行う。

当番の児童の把握をする。（児童の名前は記録しておく）

各学年、白衣の枚数や人数の関係や発達段階をふまえたり、公平性をもって当番を決める。

当番の期間は、学年で決めるが統一する。

学校の白衣を使用する。

○ 白衣の配布枚数

	1組	2組	3組
1年	14	14	14
2年	14	14	
3年	14	14	
4年	14	14	
5年	14	14	
6年	14	14	
5・6組	4		

1年生の補助に
支援員と栄養技師が
入る

※ 健康状態がよくない児童は、給食当番をしない。

（下痢・発熱・腹痛・嘔吐など）

※ 白衣・帽子・マスクを正しく着用する。

マスクは常時用と給食用と分けるのが理想だが、強制しない。

毎日、清潔なマスクを使用する。

髪の毛は、衛生的配慮や異物混入を防ぐ為、極力帽子の中に入れるようにする。

② 手指洗いは、密にならないように、順番など決めて工夫する。

※ 手指の衛生のため、爪を短くきる。（けがの防止にもなる）

※ 手指洗いは、しっかりする。水道の水は、強く出しすぎない。（飛沫を防ぐ）

※ ハンカチは、清潔なものを持ってくる。貸し借りはしない。

ハンカチは、すぐ使えるようにポケットの中に入れておく。

洋服でふくことや、手をくるくる回して自然乾燥などはしない。

	<p>③ 教室は、窓や扉を開けて換気する。</p> <p>④ 児童の机は、各自きれいにする。 ランチョンマットは、衛生的なものを持参し、毎日取り換える。 忘れた場合は、各教室に用意した「エチケットペーパー」に教室の消毒液を含ませて、机の上をきれいにふく。</p> <p>⑤ 児童は、他の学年やクラスに、配膳の手伝いにはいかない。</p> <p>⑥ 給食の配膳は担任も一緒にして、教師はエプロン・三角巾・マスクを着用する。 (補充にあたる教師もエプロン・三角巾・マスクを着用して指導にあたる。)</p> <p>⑦ 配膳は、セルフサービス方式とする。(自分の給食を自分で運ぶ) 給食当番は、最後に自分の給食を配膳する。</p> <p>⑧ 配膳は、動線を考えて一方通行にする。 逆方向また、割り込みはしない。配膳時の密を防ぐ。</p> <p>⑨ 机を前後左右なるべく離し、間隔をあける。</p> <p>⑩ 給食を受け取ったら、他のものを触らない。 (机の中のものに触る、読書などはしない)</p> <p>⑪ 配膳室で給食を受け取るとき、ピンクと水色の布巾を渡す。 (給食室で毎日洗い、給食前に消毒液を含ませる。) ワゴン手渡し時に、トレーに布巾をのせて給食調理員さんが渡す。 ピンクの布巾(配膳前に配膳台をふく用) 水色の布巾(給食終了後に配膳台をふく用) (布巾は、給食室にその日のうちに戻す)</p>
<p>食事中</p>	<p>① <u>食べる時のみ、マスクをはずす。</u> はずしたマスクは、給食セットに入れる。(マスクを落とさないように注意する)</p> <p>② 黙食及び対面を避けた座席配置は必要としない。給食の時間を利用した食育の推進に配慮する。 低学年においては、食事をとることの楽しさについて、段階的に指導する。</p> <p>③ 給食中は黙食ではありませんが、大声をだしたりせず、飛沫の拡散防止等の食事のマナーについて、指導する。</p> <p>④ 給食中、立ち上がったたり歩きまわったりしない。</p> <p>⑤ 配膳後の量の調節やおかわりは、静かにおこなう。 密にならないように、クラスで工夫する。</p> <p>⑥ 給食は、しっかり食べて健康増進を図る。</p> <p>⑦ 食事時間を確保する。時間内に食べ終わらない児童には、残して食べさせない。</p>
<p>後片付け</p>	<p>① 食べ終わった児童から、静かに後片付けを行う。</p> <p>② 食べ残しは、飛沫に注意しながら、静かに食缶にもどす。</p> <p>③ 牛乳パックは飛沫に注意し、内側の紙をはがしてリサイクルする。 外側の紙はリサイクルとして、給食室にもどす。 内側の紙・ストロー・ストローの紙はクラスでまとめて、ゴミ袋に入れる。<u>このゴミは給食室に戻す。デザート</u>の袋などもゴミ袋に入れる。 飲み残しの牛乳は、<u>ガムテープで漏れないようにとめて、飲み残し用の食缶に入れる。</u></p> <p>④ 給食後は、ワゴンに積み残しのないようにして配膳室にもどす。</p>

	<p>⑤ 配膳台は水色の布中でふいて、布巾は配膳室にもどす。</p> <p>⑥ 給食の後片付けをした児童や教職員は、<u>必ず手指を洗う</u>。</p> <p>⑦ 歯磨きは飛沫しないよう、配膳台の片付けがすべて終わってから行う。</p>
--	---

給食時間の流れ

	教職員	給食当番	給食当番以外
準備	<p>学習の場から食事の場に移るため、清潔なランチョンマットを机の上に敷く。 ランチョンマットを忘れた場合は、各教室のエチケットペーパーに消毒液をふくませて、机の上をきれいにふく。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・順番に手指を洗いに行かせる。(給食当番優先にする) ・給食当番の健康チェックと服装チェックを行う。 ・手指を洗いに行き、消毒して、エプロン・三角巾をする。 ・給食当番と一緒に、配膳室にワゴンをとりに行く。 ・児童と一緒に配膳をする。 ・順番に給食をとりにくるよう指示をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一番はじめに、石鹸でていねいに手指を洗い、自分のハンカチでふいた後、アルコール消毒をする。 ・自分のランチョンマットを机の上に広げておく。 ・白衣・帽子・マスク(衛生上必要)を着用する。 ・配膳室にワゴンを教師と一緒にとりに行く。 ・配膳台の上を消毒液が含んだピンクの布巾で、配膳台をふき、食缶や食器を並べ配膳を始める。 ・最後に、自分の給食を盛り付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・石鹸でていねいに手指を洗い、自分のハンカチでふいた後、アルコール消毒をする。 ・手洗い後は、給食を取りに行くまで、静かに席に座って待つ。 ・自分のランチョンマットを机の上に広げておく。 ・順番に給食を取りに行く。 ・配膳中は席に座って、静かに待つ。<u>(本を読んだり、他のことはしない)</u> ・配膳を待っている時は、マスク着用(衛生上・飛沫防止のため必要)
食事中	<ul style="list-style-type: none"> ・配膳後の量の調節やおかわりは、静かにする。 ・時間内に食べられない児童を残して食べさせることはしない。 ・給食を食べる時間は、確保する。 ・黙食及び対面を避けた座席配置は必要としない。給食の時間を利用した食育の推進に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いただきます」のあいさつの後、マスクをはずす。 ・食べる時にははずしたマスクは、給食セットの袋の中に入れて(または、専用袋を用意してもよい)床に落とさないように気を付ける) ・黙食ではないが、静かにして感染防止に努める。 ・大声をだしたりせず、飛沫の拡散防止等の食事のマナーに気を付ける。 ・立ち上がったりはしない。 ・給食の量の増減の時は、静かにする。 	

